

第4号

三条市消防団 広報



目次

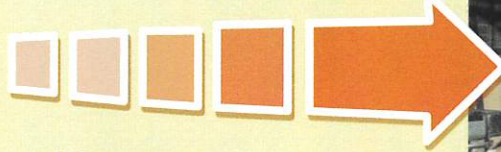
- 2・3P 実は私も消防団員です
- 4・5P 地域との交流
- 6・7P 消防団の主な年間活動
- 8 P リチウムイオン電池
混ぜて捨てないで！

下田鹿峠分団団員 古内 亮
空き家管理代行業



2020年の冬に千葉県から下田地区に地域おこし協力隊として来て、3年間の任期を終え2024年の春より住宅管理の代行サービス業を起業し、下田地区に定住をしました。

下田に住み続けられる環境を維持できるよう消防団員としても皆様のお役に立ちたいと思います。

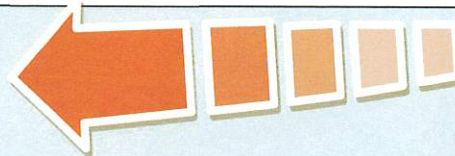


実は私も

消防団員です



会社で仕事をしながら、休みの日に消防団の訓練をするのは大変な事もありますが、消防団の活動を通じて同じ分団の仲間との連携も良くなり、いざと言う時に地域の人達を守る力が身に付いていると思います。



栄中央分団団員 佐藤智哉
機械製造業勤務



栄北分団副分団長 丸山勇輝
接骨院経営

地元の先輩方から声を掛けていただいたことがきっかけで入団しました。

同じ地域に住む色々な世代や職業の違う方々との交流が広がったことが、入団して良かったと思うところです。

現在、消防団の幹部を任せていただいておりますが、仕事と消防団活動の両立は大変な部分もありますが、団員と力を合わせて行事を成功させたり、何かをやり遂げることに、やりがいを感じています。



ラッパ隊隊長 桑原弘光
通信業勤務



私たちは、より良い吹鳴を目指し、仲間と共に切磋琢磨しながら日々技術を磨いています。仕事を終えた夜間に集まり、限られた時間の中で集中して練習を行っています。一人ひとりの努力が音に反映され、少しずつ完成度が高まるのが、大きな励みになっています。この活動を通じて、消防団員の士気向上、結束を支える一助になればと願っています。



女性消防隊員 笠原恵美
スキンケアサロン勤務



私は、スキンケアサロンの仕事をしながら消防団員も務め、さらに4人の子育ても行っています。

仕事、子育て、消防団活動は全く異なるように思えますが、どれも人との繋がりを大切にし、「人を支え、安心感を提供する」という点で共通しています。

女性消防団の活動は子育て中でも無理なく、チームで支え合い活動していて、とても楽しい環境です。いつも笑顔の女性消防団のみなさんのお陰で、より豊かな人生を送れていると実感します。



三条市内に居住、または勤務・通学されている方で18歳以上の方ならどなたでもお待ちしております。

ご興味のある方は、お住いの地区の消防団員、又は消防本部までお問い合わせ下さい。

(消防本部) ☎0256-34-1111 お問い合わせ URL→



三条市消防団 Q & A

Q 1. 消防団って何をしているの？ (中学生 S さん)

Q 2. 消防士と消防団員の違いは何ですか？ (高校生 T さん)

Q 3. 引越してきたばかりで、地域に知り合いも居ないので、消防団員になれますか？ (会社員 M さん)

Q 4. 消防団に入るメリットはありますか？ (会社員 Y さん)

A 1. 消防団は「自分たちのまちは自分たちで守る。」という精神に基づき、地域の安全と安心を守るために活躍をしています。火災発生時や大規模災害発生時はもちろん、平常時においても、訓練や広報活動などに従事し、地域における消防力・防災力の向上において重要な役割を担っています。

A 2. 消防団員は、消防署に常勤する消防士(消防職員)とは異なり、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火活動・救助活動を行う、非常勤特別職の地方公務員です。三条市では消防職員約150名・消防団員約960名が活動しています。

A 3. 市内に在住、勤務又は通学されている18歳以上の方ならどなたでもOKです。地域と関わるきっかけにもなりますよ。

A 4. 救命救急などを学ぶ機会もあり、大切な人を守る力を身に付けるチャンスとなります。会社では出会えないような色々な業種の人に出会えるのも大きなメリットです。

さかえふるさと祭り



『さかえふるさと祭り』にてちびっこ初期消火体験・子供用防火服着用写真会を行いました。

沢山の子供たちが参加され、消火体験や記念撮影を楽しんでいただき、大盛況で幕を閉じました。



しただふるさと祭り



下田方面隊は毎年8月に、『しただふるさと祭り』で会場の防災警戒活動を実施しています。

主に、ニジマスつかみ取りの仮設池や、周囲の川への転落監視、夜には花火の打ち上げ地点周辺の警備などを活動しています。

祭り会場には子供たちも多く積載車に興味を持って来てくれるので、将来は消防団員になってくれると嬉しいです。



大面地区地域防災訓練

栄方面隊では6月に地元自治会との共同地域防災訓練にて消防団員の指導のもと、土のう積を実施しました。

参加者の中には元消防団の方もおられ昔を懐かしみながら防災訓練をしてもらいました。

今後も地元自治会との連携強化をしていき、消防団活動への理解を深めていただけるよう活動していきたいと思います。



地域との交流

嵐南小学校 7. 13水害総合学習

嵐南方面隊では、20年前の7.13水害について、地域住民、校長先生と一緒に4年生の授業に参加しました。消防団として川の警戒にあたり、諏訪地内で土のう積みをしたことなどを説明し、翌日には救助活動で、多くの人たちがヘリコプターとボートで救助されたことなど、児童のみなさんは、当時の状況を驚きながらも真剣に聞いておりました。

日頃から、避難経路と避難場所を家族と話し合っておく事が大事です。

嵐南方面隊 内山 元雄



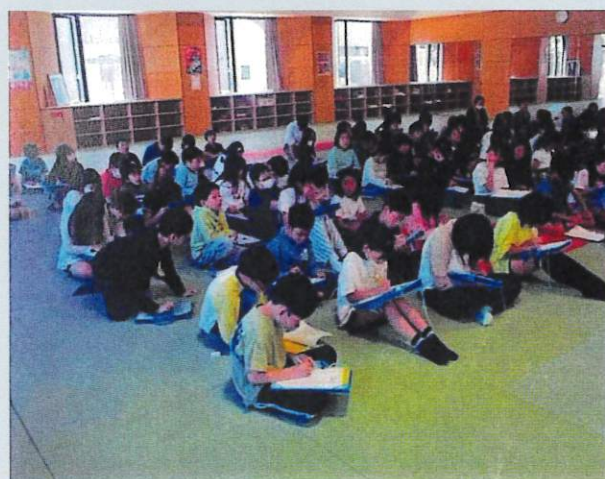
嵐南小学校の4年生は、総合的な学習の時間に自分たちの身近にある五十嵐川について、学習を進めてきました。その学習の一環として、五十嵐川で起こった水害について調べることにしました。

そこで5月に地域の方や消防団の方を講師としてお招きし、7.13水害当時の体験談をお話していただきました。

堤防が決壊し、洪水が起こるまでの様子や避難生活の様子など、当時のことを詳しく教えていただきました。子どもたちは、自分たちの住んでいる嵐南地域が大きな被害に遭ったことに驚きを感じていました。

また、普段の生活のありがたみを感じるとともに、災害に備えて事前に準備することの重要性に気づき、防災意識を高めることができました。

嵐南小学校 4学年担任 見黒 聖也



防火チラシが出来上がりました



毎年、春に皆様のお宅に配布している防火チラシのイラストについて、市内全小学校の4年生に書いてもらい、428点の作品が寄せられました。

その中から、消防団長及び消防団予防部で選考を行った結果、裏館小学校の山家 悠さんのイラストに決定いたしました。

とても素晴らしいイラストを考えていただき、ありがとうございました。

このチラシを見やすい場所に貼り、火の用心に心掛けて下さい。



おおじま&すごろフェス



大島方面隊は、地域公民館が主催した行事に参加して、地域との触れ合いを図りました。室内では消防団活動の紹介や、子供用の消火服等を展示、実際に着て体験してもらいました。屋外では水消火器を用いて火を消す訓練が出来るエリアや、積載車や装備を間近で見学してもらいました。今年で2回目の行事でしたが、今後も積極的に活動を紹介していきたいとおもいます。



自衛消防隊との連携：安全な未来を共に守る



井栗地域では、消防団と自衛消防隊が連携し、安全な地域づくりに尽力しています。水害を克服した地域で、資機材の点検や地域老人会の消火器点検を行い、リヤカーのタイヤ空気不足も発見。自衛消防隊の地域ポンプ小屋の管理方法を改善し、効率的な管理体制を整えました。この連携により、緊急時に迅速な対応が可能となり、安全な地域を維持しています。



消防団の主な年間活動

春（4月～6月）

水害対応防災訓練

7. 13水害の教訓を踏まえて作成された「三条市水害対応マニュアル」に基づき、土のう積み訓練や要援護者の避難支援訓練を6月ごろに実施します。

また三条市の訓練とは別に、5月に信濃川下流総合水防演習にも参画しており、今年度は三条市で実施されました。

いざという時に備えて、
積み方を再確認



広報活動

4月1日～7日春の全国火災予防週間に合わせて広報活動を実施します。

積載車（消防車）で地域内を火の用心の音声を流しながら巡回します。

火の用心！
お出かけ前には火の元確認！



夏（7月～9月）

祭りの警戒活動など

三条、栄、下田の各地区で開催される祭礼や花火大会等において、地域住民の安全安心の確保のため警戒活動を実施します。

警戒とは別に、その他にも自治会の行事や学校行事などにも声をかけていただけたら対応させていただきます。

三条祭り（5月）、献灯祭（1月）
も出てます

打ち上げ場付近の、火の粉による延焼に備えて待機！
本番前の段取り確認中です。



消防防災フェスタ

楽しみながら防災について学べる「さんじょう消防・防災フェスタ」に、今年度は女性消防隊が参加しました。

大きくなったら
消防団に入っ
てね♪



私たち消防団は火災や水害等への対応に備えて毎月の訓練や火の用心の広報のほか、さまざまな訓練や行事に参画しています。



秋（10月～12月）

消防団総合演習

一斉放水・訓練礼式等の消防実技訓練を実施し、広く市民に対し、防火、防災思想の高揚及び普及を図ることを目的として、ミズベリングを会場として実施します。今年度は集結訓練、ラッパ隊の吹鳴による分列行進ののち、規律訓練や一斉放水訓練を実施しました。

これとは別に方面隊単位でも独自の工夫をこらした演習を実施しています。

圧力や角度を揃えて一斉放水だ！



毎週の訓練の成果を披露するぜ♪



広報活動

11月は9日～15日が秋の全国火災予防週間です。
(119で覚えてね)

冬（1月～3月）

消防出初式

三条市の無火災を祈念するとともに、消防職・団員の士気高揚と住民の火災予防思想の理解と協力を深めることを目的として、毎年1月に実施します。

私たち消防団は市中パレードと、五十嵐川河川敷での一斉放水を行います。

様々な種類の消防車両が集結して壮観です！



毎月こんなことも

・万一の火災発生に備えて、積載車やポンプ・ホース等の資機材は毎月の訓練と点検を実施して、万全の体制を維持しています。

・広報活動は4月、11月以外も毎月行っています。冬場はとくに重点的に巡回しています。

雨や雪の日でもやっています！



危険 リチウムイオン電池 混ぜて捨てないで！

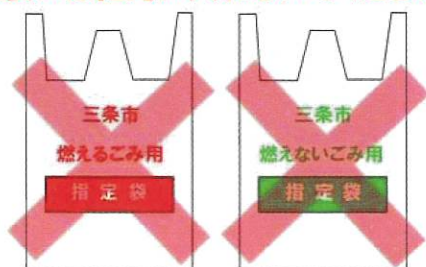


小型充電式電池による火災が急増中！

モバイルバッテリーやコードレス製品、電子タバコなどの充電式の製品の多くに使われている小型充電式電池は、強い衝撃や破損や変形などにより激しい発煙・発火の恐れがあり、取り扱いには注意が必要です。

特にこうした電池が様々なごみと混ざって捨てられた場合、発煙・発火する危険性があることが全国的に問題となっており、指定ごみ袋に一般ごみと混ぜて出すと、ごみ収集車や清掃センターでの火災につながります。実際、指定ごみ袋に混入していたリチウムイオン電池が原因で、2022年3月28日に清掃センターで火災が発生しました。

指定袋には絶対に入れないでください



リサイクル協力店を利用する

次のマークのある小型充電式電池は、リサイクル協力店において無料で回収しています。



充電式電池リサイクルマーク



市の拠点回収を利用する

リサイクル協力店で回収できない小型充電式電池や、小型家電で取り外し可能な充電パックは、小型家電又は乾電池の拠点回収場所に併設している専用の回収ボックスを御利用ください。

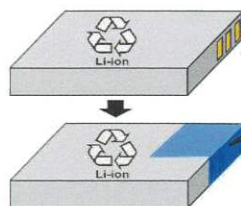


＜箱に入れてよいもの＞
家庭で使用済みとなった小型充電式電池
・リチウムイオン電池などの小型充電電池
・モバイルバッテリー



＜箱に入れることができないもの＞
・電子タバコ等充電式内蔵型製品・・・小型家電回収箱へ
・乾電池（充電式でない電池）・・・乾電池回収箱へ

※事業所や市外から持ち込む充電式電池は回収できません。



有害ごみの回収を利用する

年2回のごみステーション回収を利用して小型充電式電池を処分することができます。

市のホームページにも
詳しい説明があります



・広報紙編集委員・

編集委員長
内山 元雄

内山 元雄（編集委員長）
田巻 博和（副編集委員長）
高野 孝雄 須藤 隆夫
長谷川 智明 深澤 和之
田辺 健一 高野 正樹
佐藤 義則 鈴木 勝利
山井 雅教 渡辺 貴行

原稿をお寄せくださった皆様、ご協力いただき誠にありがとうございました。無事に第四号を発行することができました。前回より少しでも見やすくなるように工夫し、紙面の構成など工務し製作してみました。この広報誌を通じて、私たちの消防団をより身近に感じていただければ幸いです。ご感想がありましたら、お近くの消防団員にお伝えいただくか、ご理解とご協力をいただき、お役に立つ広報誌を目指してまいります。

編集後記